てんぐ新聞

08.5. No132
発行責任 市岡日出夫
0883-88-5292

剣山も山開き

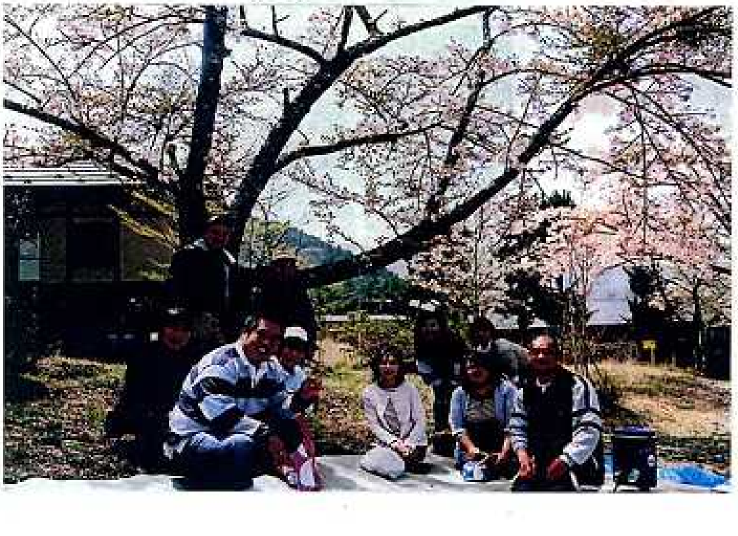
シーズン到来

四月も半ばをすぎると日中の気温もあがり、祖谷の山々も水彩画の世界。
今年は、なぜか「白」が目立つ。タムシバの花は、こんなにも祖谷にあったのかと驚くほど、よく見かけました。ある人によると今年は花がよく咲く年だとか。
そして、四月末頃から アオダモの花が山を白く色どっている。遠くから見ると白が際立つ所は、アオダモ。そして時々はウワミズザクラもみられる。
五月一日には剣山も山開きでいよいよシーズン到来です。
夏までは、あちこちに次々と山野草の花に出逢えて、山を歩くと嬉しいことに新しい発見があります。
もうヤマシャクヤクも白い花を咲かせて、雑木林の中に輝いています。
まもなくシャクナゲも咲くようです。
今年はよく咲いてくれるかな・

ともかく、気温があがってくると気持ちも前向きになって、何かをしたくなってくる。
ゼンマイ、ワラビをはじめ山菜を獲ってきて食べたり、お世話になってる皆さんに送ってあげたりと行動的になる。
明るいニュースが少ないけれど、なんとかなる様な気がしてくるのが不思議だ。
水彩祖谷村も三年目に突入。そうそう、組織的にきちんとして、誰かがやめても祖谷村が存続していくようにしていかないと、今までの組織のように、いつの間にか消えていってしまい、あれはなんだったのかという事にもなりかねません。村民一人一人の自覚と自立が必要不可欠だとおもいます。時に祖谷存住の!

陽気にさそわれ花見

日に日にの 憂さを忘れて いやしの郷



毎月一回の障害者の皆さんのデイち
四月は、花見。
皆んなでお弁当を作って、荷生いやしの郷での花見を楽しみました。
時より花吹雪が舞うなか、楽しい時間をすごし、ひと時のやすらぎ空間でいっぱいで、その上 手作り弁当の味もよくて、お腹もいっぱい。
ゆっくりした時の流れの中、ゲームをしたり一句をひねってみたりと、皆さんが選んだ三点句が、右側の「日に日にの憂さを忘れていやしの郷」ということで日頃のストレスのことなど、どこかに飛んでしまった一日のようでした。
参加した皆さんの笑顔を見て下さい。
まだ弁当食べる前なのに、この満足顔がすべてを物語っています。